

令和3年生駒市教育委員会第6回臨時会会議録

1 日 時 令和3年4月1日(木) 午後3時～午後3時33分

2 場 所 生駒市役所 401・402 会議室

3 審査事項

- (1) 報告第5号 令和3年生駒市議会第1回(3月)定例会提出議案の結果について
- (2) 議案第16号 令和3年度第2次生駒市教育大綱アクションプランの策定について【継続審議】
- (3) 報告第6号 臨時代理につき承認を求めることについて(生駒市教育委員会事務局事務決裁規則の一部を改正する規則の制定について)

4 教育委員会出席者

教育長	原 井 葉 子		
委員(教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委 員	神 澤 創
委員	坪 井 美 佐	委 員	レイノルズあい
委員	伊 藤 智 子	委 員	古 島 尚 弥

5 事務局職員出席者

教育こども部長	奥 田 吉 伸	生涯学習部長	八 重 史 子
教育こども部次長	坂 谷 操	教育総務課長	山 本 英 樹
教育指導課長	前 田 伸 行	学校給食センター所長	財 満 直 也
こども課長	松 田 悟	こども課指導主事	川 田 奈 津 子
こども課指導主事	松 本 裕 美	子育て支援総合センター所長	角 井 智 穂
生涯学習課長	清 水 紀 子	図書館長	西 野 貴 子
図書館課課長	錦 好 見	スポーツ振興課長	西 政 仁
教育総務課課長補佐	石 田 昌 代	教育指導課課長補佐	日 高 興 人
教育指導課課長補佐	花 山 浩 一	こども課課長補佐	大 窪 奈 都 子
こども課課長補佐	福 山 清 美	生涯学習課課長補佐	井 川 啓 一 郎
図書館副館長	谷 江 真 美 子	図書館南分館長	中 谷 知 子
生駒駅前図書室長	平 澤 佐 千 代	教育総務課(書記)	牧 井 望

6 傍聴者 4名

午後3時 開会

○開会宣告

≪原井教育長 挨拶≫

○日程第1 議席の決定について
審議結果 【原案のとおり】

○日程第2 報告第5号 令和3年生駒市議会第1回（3月）定例会提出議案の結果について

- ・令和3年生駒市議会第1回（3月）定例会提出議案の結果について、山本教育総務課長から説明
＜参照：議案書p1＞
（質疑） なし

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第3 議案第16号 令和3年度第2次生駒市教育大綱アクションプランの策定について【継続審議】

- ・令和3年度第2次生駒市教育大綱アクションプランの策定について、山本教育総務課長から説明
＜参照：議案書p2、別冊1＞
（質疑）

イノベ委員：p16の「グローバル時代に対応した外国語教育の推進」について、前回は、事業の概要とALTの配置時間数という目標と現状値となっていたが、今後発展させた内容としてICTを活用して英語の4技能を育成するということで、設定目標は事務局にお任せするという意見を提出さえていただいた。それを踏まえた上で、別冊のとおりまとめていただいた。今回このような形でまとめていただいた経緯を教えていただきたい。

前田課長：4技能のご意見をいただき、Can-Doリストの達成度ということを数値目標として考えさせていただいたが、現時点ではCan-Doリストを使って数値目標を掲げ、毎年把握していくことが非常に難しいということで、より客観的なデータで子どもたちの成長を図るために全国学力状況調査の「英語の勉強は好きですか。」「英語の授業で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができましたか。」という質問が、具体的に子どもたちの興味や関心と、子どもたちの伝え合う力、実感が客観的に見ることができると判断したことから、今回これを数値目標として掲げさ

せていただいた。また、今後Can-Doリストを見直していく中で、数値化して評価できるものを検討していきたい。

イノズ 委員：今回の数値目標は非常に良いと思う。客観的な配置時間数ということではなく、実際の生徒の意見を反映して数値化することは良いと思うが、質問が「気持ちを伝え合うことができますか。」ということになっていることから、「話す」ことが重点になっている。実際の現場では取り組んでいただいているとは思いますが、やはり「聞く」「話す」「書く」「読む」の4技能をバランス良く育成するということを目指して、今後も引き続き展開して行っていただきたいと思う。

坪井 委員：p6の「コミュニティスクールの推進」について、事業の概要において「当事者能力」という文言があるが、これはどのような能力なのかを教えてください。

飯島 委員：当事者能力とは、私の意見を採り入れていただいたものであり、学校と地域が連携し、子どもたちが地域社会の一員であるという意識をしっかりと持ってもらうという趣旨で表現させていただいているものである。

また、アクションプランにおいて、非常に数値化しづらいものがあるので、運用の中で円滑に取り運んでいただきたい点が2点ある。1点が、特にp6の「コミュニティスクールの推進」とp21の「『生駒市史』編さん事業」についてである。コミュニティスクールについては、子どもたちに当事者意識を持ってもらうために、「『生駒市史』編さん事業」については、学校関係者という文言を追記した。生駒市史については、生駒市の歴史というものが、遠く離れたものということではなく、市民が関わって作り上げてきた歴史であるということ子どもたちに意識してもらうために、学校関係者、特に学校運営に関わっていただいている地域の方々の意見や願いというものを汲み上げていただきたいと思う。学校のカリキュラムの中に地域の実態や歴史が何らかの形で取り込まれれば、より地域の中の学校として価値のあるものになっていくのではないかと考えている。

2点目は、p7の「GIGAスクール構想をはじめとした令和の日本型教育の実証事業」について、「いこまモデル」という文言を追記していただいた。これまでは予算や機器があるからできるということであったが、全国的に1人1台が整備されつつある中で、生駒市はこれをしたというものを創り上げたいという意味を込めて記述させていただいた。

原井教育長：貴重なご意見をいただいたので、ぜひとも具現化していきたいと思う。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第4 教育委員会事務局職員の挨拶について

・教育委員会事務局職員の挨拶について、奥田教育こども部長から説明

《事務局職員 自己紹介》

- 追加日程第1 報告第6号 臨時代理につき承認を求めることについて（生駒市教育委員会事務局事務決裁規則の一部を改正する規則の制定について）
- ・臨時代理につき承認を求めることについて（生駒市教育委員会事務局事務決裁規則の一部を改正する規則の制定について）、山本教育総務課長から説明
＜参照：議案書（追加日程）、追加資料1＞
（質疑） なし

審議結果 【報告のとおり承認】

午後3時33分 閉会